

令和5年度 宮崎南部森林管理署 公共工事契約状況

令和5年12月13日

分任支出負担行為担当官  
宮崎南部森林管理署長 福嶋 貢史

工 事 名		施 工 場 所		工事種別	工事概要	入札方式
鶴園2063林道新設工事		宮崎県串間市大字本城地内		林道工事	新設工事 延長 484.6mm 幅員 3.6mm	一般競争入札 (総合評価落札方式)
予定価格(税抜き)	調査基準価格(税抜き)	契約年月日		契約相手方の商号又は名称及び住所		
68,310,000円	61,879,130円	令和5年12月6日		宮崎県串間市大字大平3291 大平開発 株式会社		
契約金額(税抜き)	工事着手の時期	工事完成の時期				
67,400,000円	令和6年1月	令和7年1月				

○予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。)第73条の規定に基づく競争参加資格

別添「入札公告」のとおり

○競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由

別紙「競争参加資格確認結果書」(別添1)のとおり

○入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額

別紙「入札執行調書」(別添2)のとおり

○予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳

別紙「工事積算内訳書」(別添3)のとおり

## 入札公告（森林土木工事）（総合評価落札方式）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和5年10月27日

分任支出負担行為担当官  
宮崎南部森林管理署長 福嶋 貢史

### 1 工事概要

- (1) 工事名 鶴園2063林道新設工事
- (2) 工事場所 宮崎県串間市大字本城地内（水源かん養保安林）
- (3) 工事内容 延長 484.6m (MC. 15～NO. 45) 幅員 3.6m  
切土工 6,874m<sup>3</sup> 盛土工 1,014m<sup>3</sup> 残土処理工 5,172m<sup>3</sup>  
法面整形 1,820m<sup>2</sup> 法面保護工 3,489m<sup>2</sup> 木柵工 46m  
路盤工 2,276m<sup>2</sup> 布団かご工（スロープ式） 12m  
チェーン伐開 6,116m<sup>2</sup> 枝条片付 6,116m<sup>2</sup>  
鉄筋コンクリート横断溝 150S 4箇所 鉄筋コンクリート横断溝 300型 4箇所  
鉄筋コンクリート横断溝 400型 1箇所 横断溝保護工 67.9m<sup>2</sup>  
コルゲートリウム 4箇所 暗渠排水管 2箇所 張コンクリート 3.0m<sup>2</sup>  
木製枠工 7基 路床排水工 24.3m ブロック積工 34.4m<sup>2</sup>  
コンクリート擁壁工⑤ 41.0m<sup>3</sup> コンクリート擁壁工⑦ 15.6m<sup>3</sup>  
コンクリート壁④ 2.4m<sup>3</sup> コンクリート壁⑥ 0.9m<sup>3</sup>
- (4) 工期 契約締結日の翌日から令和7年3月21日まで  
（工期は、「4週8休」を標準として設定）

令和6年2月16日（工事着手期限）までに工事を開始すること。

本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、余裕期間を見込んだ工事であり、工事着手期限までの間で、受注者は工事の着手日を任意に設定することができる。

契約締結の日から工事着手日の前日までの間は余裕期間となり、余裕期間内は技術者を配置することを要しない。

また、余裕期間内に施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。なお、余裕期間内に工事着手した場合においても、工期の終期の変更は行わない。

- (5) 本工事は、総合評価落札方式（簡易型）における提出資料の簡素化（技術提案の施工計画の省略）や技術審査・評価の効率化を図り、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する工事である。
- (6) 本工事は、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の工事である。
- (7) 本工事は、入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
- (9) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
- (10) 本工事は、週休2日を促進するため、現場閉所による週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（受注者希望方式）である。  
契約締結後、工事着手前に週休2日の取組について協議して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休2日の取組実績証明書」を発行する。なお、現場閉所が4週8休以上でない場合は、現場閉所状況等に応じて請負代金額を変更するが、工事成績評定においてマイナス評価は行わない。
- (11) 本工事は、令和5年3月1日以降の労務単価を適用した工事である。  
詳しくは九州森林管理局ホームページ  
[https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan\\_kouhyou.html#290327](https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan_kouhyou.html#290327)  
を参照すること。
- (12) 本工事は、令和4年度積算基準に基づくものであるが、令和5年3月29日に「令和5年4月から適用する森林整備保全事業設計積算要領等に係る取扱いについて」（令和5年3月29日付け4林整計第868号林野庁森林整備部計画課長通知）が通知されたことを踏まえ、工事の発注者又は受注者は、国有林野事業工事請負契約約款第63条の規定に基づき、次の方式により算出された請負代金額等に変更する協議を行うことができるものとする。

$$\text{変更後の請負代金額等} = P_{\text{新}} \times k$$

この式において、「P新」及び「k」は、それぞれ以下を表すものとする。

P新：新積算基準により積算された予定価格に相当する額（単価は入札書の受付開始の日のもの）

k：当初契約の落札率

- (13) 本工事は、ICT技術の活用を図るため、受注者の希望により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事（施工者希望型）である。

## 2 競争参加資格

- (1) 「予算決算及び会計令」（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、第70条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 九州森林管理局における土木一式工事に係るA、B又はC等級の一般競争参加資格の認定を受けていること。（「会社更生法」（平成14年法律第154号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、九州森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。）。
- (3) 「会社更生法」に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者（上記(2)の再確認を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 平成20年度以降公告日の前日までに元請として、次に示す森林土木工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

なお、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長（以下「森林管理局長等」という。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）第4の3に規定する工事成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除く。

経常建設共同企業体にあつては、全ての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事  
 ② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事  
 ③ 林道規定に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事  
 のうち、いずれかの工事

(5) 「建設業法」(昭和24年法律第100号)に基づく「主任技術者又は監理技術者」(以下「主任(監理)技術者」という。)の配置については、次に掲げる基準を満たす主任(監理)技術者を配置できること。

ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。

- ① 技術士(建設部門又は森林部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る。))、2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士又は林業技士(森林土木部門に限る。)以上の資格を有する者であること。  
 ② 平成20年度以降公告日の前日までに、森林土木工事において、次の職務の経験を有する者であること。ただし、交代等により全工期(余裕期間は除く)のうち半分未満の経験を有する者は該当しない。

なお、当該実績が森林管理局長等が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が65点未満のものを除く。

ア 主任(監理)技術者

イ 主任(監理)技術者で行った工程管理、出来形管理、品質管理及び安全管理のうち、いずれか2以上の職務の経験のある者

ウ 現場代理人

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事  
 ② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事  
 ③ 林道規程に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事  
 のうち、いずれかの工事

- ③ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

ただし、監理技術者の行うべき職務を補佐する者として、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者等を除く基準をすべて満たす者を当該工事現場に専任で配置する場合は、2現場を限度として兼務できることとする。

なお、主任技術者の専任に係る取り扱いについては、工作物に一体性若しくは連続性のある工事又は施工にあたり相互に調整を必要とする工事で、かつ、工事の施工管理区域間隔が10km程度又は移動時間60分程度の接近した場所において、同一の建設業者が施工する場合には、建設業法施行令第27条第2項が適用できるものとする。

この場合において、主任技術者が管理することができる工事の数は、専任が必要な工事について、原則3件程度とする。（監理技術者には適用しない）

- (6) 競争参加資格確認申請書、競争参加資格確認資料及び総合評価資料（以下「申請書等」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知。以下「工事請負契約指名停止等措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (7) 森林管理局長等が発注した森林土木工事で、過去3年間（令和2年4月1日から令和5年3月31日まで）に完成した工事で工事成績評定を受けた工事がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。
- (8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書を参照のこと。）。
- (10) 「建設業法」に基づく本店又は支店若しくは営業所が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。  
また、経常建設共同企業体として資料を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。
- (11) 「農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について」（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (12) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

- ・健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出の義務
- ・厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出の義務
- ・雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出の義務

(13) 下請契約等からの社会保険等未加入建設業者の排除等

工事を施工するために締結した全ての下請契約について、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請契約の相手方にするにはできない。（ただし、適用除外者は除く。）

### 3 競争参加資格の確認等

(1) 本競争の参加希望者は、上記 2 に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書等を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(2) 申請書等の提出期間、場所及び方法

- ① 提出期間：令和 5 年 10 月 30 日から令和 5 年 11 月 13 日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9 時から 17 時までとする。
- ② 提出先：〒889-2535 宮崎県日南市飫肥 5-3-45  
宮崎南部森林管理署 総務グループ  
電話 0987-25-1115  
メールアドレス：E-mail：ky-miyanan@maff.go.jp
- ③ その他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又は F A X によるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。

(3) 申請書等は入札説明書により作成すること。

(4) 上記(2)に規定する期限までに申請書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争に参加できない。

(5) 省略を認める書類

過去 3 年間（令和 2 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）に完成した工事で森林管理局长等発注の森林土木工事に係る工事成績評定通知書（写）の添付については、本公告による競争参加資格申請が今年度の 2 回目以降の申請であり、既に前回までの申請書に添付している場合には、様式に工事名、工事成績評定点等を記載した上で「〇〇森林管理（局、（支）署）令和〇〇年〇〇月〇〇日入札の〇〇工事において提出済み」と記載すれば再度の添付を要しない。（入札説明書を参照のこと）

### 4 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は次の方法により落札者を決定する方式とする。

- ① 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点 100 点を付与する。
- ② 上記 3 (1) の総合評価資料により示された実績等により最大 30 点の加算点及び最大 30 点の施工体制評価点を付与する。
- ③ 付与された標準点、加算点及び施工体制評価点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値（以下「評価値」という。）を用いて落札者を決定する。  
その評価項目等の概要は、次に示すとおりとするが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

## (2) 評価項目

評価項目は、次に示すとおりである。

- ① 施工能力等に関する事項
- ② 信頼性・社会性に関する事項
- ③ 施工体制（品質確保の実効性、施工体制確保の確実性）に関する事項

なお、①及び②の項目で最大 30 点の加算点、③の項目で最大 30 点の施工体制評価点とする。

## (3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格をもって入札する。標準点に加算点を加えた点数をその入札価格で除して得られる評価値（ $\text{評価値} = \{ (\text{標準点} + \text{加算点} + \text{施工体制評価点}) / (\text{入札価格}) \}$ ）を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。ただし、予定価格が 1 千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件をすべて満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- ① 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
- ② 評価値が標準点（100 点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

## 5 入札手続等

### (1) 担当部局

〒 8 8 9 - 2 5 3 5 宮崎県日南市飫肥 5 - 3 - 4 5

宮崎南部森林管理署 総務グループ

電話 0 9 8 7 - 2 5 - 1 1 1 5

メールアドレス : E-mail : ky-miyanan@maff. go. jp

(2) 入札説明書等の配布期間、場所及び方法

入札説明書等（図面類を含む。）は、本公告の日から入札日の前日までの期間において電子入札システムを用いて入手できる。

なお、電子入札システムによりがたい場合は次に掲げるところによる。

- ① 配布期間：令和5年10月27日から令和5年11月28日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時までを除く。）とする。
- ② 場 所：〒889-2535 宮崎県日南市飫肥5-3-45  
宮崎南部森林管理署 総務グループ  
電話 0987-25-1115
- ③ 図面類は閲覧によること。
- ④ 配布資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、郵送等による提出は認めない。

- ① 電子入札システムによる入札の締切りは、令和5年11月29日10時00分。
- ② 紙入札方式により入札の締切りは、令和5年11月29日10時00分とし、宮崎南部森林管理署入札室において入札。
- ③ 開札は、令和5年11月29日10時05分に、宮崎南部森林管理署入札室において行う。
- ④ 紙入札方式による入札の執行に当たっては、分任支出負担行為担当官により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を持参すること。

6 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

- ① 入札保証金 免除
- ② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行日南代理店）。ただし、金融機関又は保証事業会社（「公共工事の前払金保証事業に関する法律」（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁 宮崎南部森林管理署）をもって契約保証金の納付に代えることができる。  
また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。紙入札方式による場合は、入札書とともに工事費内訳書を提出すること。

なお、当該工事費内訳書の提出のない者のした入札、及び不備等があった者の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

この場合には、「工事請負契約指名停止等措置要領」第1第1項の規定に基づく指名停止又は第10の規定に基づく書面若しくは口頭での警告若しくは注意の喚起を行うことがある。

(5) 配置予定主任（監理）技術者の確認

落札者決定後、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム（CORINS）」等により配置予定の主任（監理）技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を締結しないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置予定主任（監理）技術者の変更は認めない。

(6) 低入札価格調査を受けた者と契約する場合は、建設業法の定めにより配置する技術者とは別に2の(5)に定める要件と同一の要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置することとする。

(7) 契約書作成の要否

作成を要する。

(8) 関連情報を入手するための照会窓口

上記5(1)に同じ。

(9) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(2)により申請書等を提出することができる。ただし、競争に参加するには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(10) 申請書等の内容のヒアリング

原則として行わない。ただし、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(11) 施工体制確認のためのヒアリング

施工体制確認のためのヒアリングを実施するとともに、その際、追加資料の提出を

求めることがある。

(12) 本案件は、入札及び資料の提出等を電子入札システムにより行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（平成16年7月 林野庁）による。

(13) 本公告に係る森林土木工事請負契約における契約約款は、こちらからダウンロードされたい。

詳しくは当森林管理局のホームページ

[http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku\\_yakkan/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku_yakkan/index.html)

を確認すること。

なお、上記ダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とする。

(14) 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、「農林水産省発注者綱紀保持規程」（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規定第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。

（不当な働きかけ）

- ① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
- ② 指名競争入札において自らを指名すること又は他社を指名しないことの依頼
- ③ 自らが受注すること又は他社に受注させないことの依頼
- ④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取
- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

詳しくは当森林管理局のホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/apply/publicsale/koubo/index.html>

を確認すること。

(15) 本工事については、受注者が追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する場合に設計変更の協議の対象となる。受注者からの申し出により、受注者による施工計画書への反映と確実な履行を前提として設計変更を行い、必要に応じて請負代金額の変更や工期の延長を行う。

## 入札公告の訂正に関する公告

令和5年10月27日付けで公告した鶴園2063林道新設工事について、下記のとおり追加訂正するので公告します。

### 記

(訂正内容)

誤 1 工事概要

(4) 工期 契約締結日の翌日から令和7年3月21日まで

正 1 工事概要

(4) 工期 契約締結日の翌日から令和7年1月7日まで

以上、公告する。

令和 5年11月6日

分任支出負担行為担当官

宮崎南部森林管理署長 福嶋 貢史

## 入札公告（森林土木工事）（総合評価落札方式）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和5年11月6日

分任支出負担行為担当官  
宮崎南部森林管理署長 福嶋 貢史

### 1 工事概要

- (1) 工事名 鶴園2063林道新設工事
- (2) 工事場所 宮崎県串間市大字本城地内（水源かん養保安林）
- (3) 工事内容 延長 484.6m (MC. 15～NO. 45) 幅員 3.6m  
切土工 6,874m<sup>3</sup> 盛土工 1,014m<sup>3</sup> 残土処理工 5,172m<sup>3</sup>  
法面整形 1,820m<sup>2</sup> 法面保護工 3,489m<sup>2</sup> 木柵工 46m  
路盤工 2,276m<sup>2</sup> 布団かご工（スロープ式） 12m  
チェーン伐開 6,116m<sup>2</sup> 枝条片付 6,116m<sup>2</sup>  
鉄筋コンクリート横断溝 150S 4箇所 鉄筋コンクリート横断溝 300型 4箇所  
鉄筋コンクリート横断溝 400型 1箇所 横断溝保護工 67.9m<sup>2</sup>  
コルゲートフィルム 4箇所 暗渠排水管 2箇所 張コンクリート 3.0m<sup>2</sup>  
木製枠工 7基 路床排水工 24.3m ブロック積工 34.4m<sup>2</sup>  
コンクリート擁壁工⑤ 41.0m<sup>3</sup> コンクリート擁壁工⑦ 15.6m<sup>3</sup>  
コンクリート壁④ 2.4m<sup>3</sup> コンクリート壁⑥ 0.9m<sup>3</sup>
- (4) 工期 契約締結日の翌日から令和7年1月7日まで  
（工期は、「4週8休」を標準として設定）

令和6年2月16日（工事着手期限）までに工事を開始すること。

本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、余裕期間を見込んだ工事であり、工事着手期限までの間で、受注者は工事の着手日を任意に設定することができる。

契約締結の日から工事着手日の前日までの間は余裕期間となり、余裕期間内は技術者を配置することを要しない。

また、余裕期間内に施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。なお、余裕期間内に工事着手した場合においても、工期の終期の変更は行わない。

- (5) 本工事は、総合評価落札方式（簡易型）における提出資料の簡素化（技術提案の施工計画の省略）や技術審査・評価の効率化を図り、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する工事である。
- (6) 本工事は、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の工事である。
- (7) 本工事は、入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
- (9) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
- (10) 本工事は、週休2日を促進するため、現場閉所による週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（受注者希望方式）である。  
契約締結後、工事着手前に週休2日の取組について協議して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休2日の取組実績証明書」を発行する。なお、現場閉所が4週8休以上でない場合は、現場閉所状況等に応じて請負代金額を変更するが、工事成績評定においてマイナス評価は行わない。
- (11) 本工事は、令和5年3月1日以降の労務単価を適用した工事である。  
詳しくは九州森林管理局ホームページ  
[https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan\\_kouhyou.html#290327](https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan_kouhyou.html#290327)  
を参照すること。
- (12) 本工事は、令和4年度積算基準に基づくものであるが、令和5年3月29日に「令和5年4月から適用する森林整備保全事業設計積算要領等に係る取扱いについて」（令和5年3月29日付け4林整計第868号林野庁森林整備部計画課長通知）が通知されたことを踏まえ、工事の発注者又は受注者は、国有林野事業工事請負契約約款第63条の規定に基づき、次の方式により算出された請負代金額等に変更する協議を行うことができるものとする。

$$\text{変更後の請負代金額等} = P_{\text{新}} \times k$$

この式において、「P新」及び「k」は、それぞれ以下を表すものとする。

P新：新積算基準により積算された予定価格に相当する額（単価は入札書の受付開始の日のもの）

k：当初契約の落札率

- (13) 本工事は、ICT技術の活用を図るため、受注者の希望により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事（施工者希望型）である。

## 2 競争参加資格

- (1) 「予算決算及び会計令」（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、第70条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 九州森林管理局における土木一式工事に係るA、B又はC等級の一般競争参加資格の認定を受けていること。（「会社更生法」（平成14年法律第154号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、九州森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。）。
- (3) 「会社更生法」に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者（上記(2)の再確認を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 平成20年度以降公告日の前日までに元請として、次に示す森林土木工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

なお、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長（以下「森林管理局長等」という。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）第4の3に規定する工事成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除く。

経常建設共同企業体にあつては、全ての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事  
 ② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事  
 ③ 林道規定に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事  
 のうち、いずれかの工事

(5) 「建設業法」(昭和24年法律第100号)に基づく「主任技術者又は監理技術者」(以下「主任(監理)技術者」という。)の配置については、次に掲げる基準を満たす主任(監理)技術者を配置できること。

ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。

- ① 技術士(建設部門又は森林部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る。))、2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士又は林業技士(森林土木部門に限る。)以上の資格を有する者であること。  
 ② 平成20年度以降公告日の前日までに、森林土木工事において、次の職務の経験を有する者であること。ただし、交代等により全工期(余裕期間は除く)のうち半分未満の経験を有する者は該当しない。

なお、当該実績が森林管理局長等が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が65点未満のものを除く。

ア 主任(監理)技術者

イ 主任(監理)技術者で行った工程管理、出来形管理、品質管理及び安全管理のうち、いずれか2以上の職務の経験のある者

ウ 現場代理人

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事  
 ② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事  
 ③ 林道規程に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事  
 のうち、いずれかの工事

- ③ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

ただし、監理技術者の行うべき職務を補佐する者として、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者等を除く基準をすべて満たす者を当該工事現場に専任で配置する場合は、2現場を限度として兼務できることとする。

なお、主任技術者の専任に係る取り扱いについては、工作物に一体性若しくは連続性のある工事又は施工にあたり相互に調整を必要とする工事で、かつ、工事の施工管理区域間隔が10km程度又は移動時間60分程度の接近した場所において、同一の建設業者が施工する場合には、建設業法施行令第27条第2項が適用できるものとする。

この場合において、主任技術者が管理することができる工事の数は、専任が必要な工事について、原則3件程度とする。（監理技術者には適用しない）

- (6) 競争参加資格確認申請書、競争参加資格確認資料及び総合評価資料（以下「申請書等」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知。以下「工事請負契約指名停止等措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (7) 森林管理局長等が発注した森林土木工事で、過去3年間（令和2年4月1日から令和5年3月31日まで）に完成した工事で工事成績評定を受けた工事がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。
- (8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書を参照のこと。）。
- (10) 「建設業法」に基づく本店又は支店若しくは営業所が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。  
また、経常建設共同企業体として資料を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。
- (11) 「農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について」（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (12) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

- ・健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出の義務
- ・厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出の義務
- ・雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出の義務

(13) 下請契約等からの社会保険等未加入建設業者の排除等

工事を施工するために締結した全ての下請契約について、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請契約の相手方にするにはできない。（ただし、適用除外者は除く。）

### 3 競争参加資格の確認等

(1) 本競争の参加希望者は、上記 2 に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書等を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(2) 申請書等の提出期間、場所及び方法

- ① 提出期間：令和 5 年 10 月 30 日から令和 5 年 11 月 13 日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9 時から 17 時までとする。
- ② 提出先：〒 889-2535 宮崎県日南市飫肥 5-3-45  
宮崎南部森林管理署 総務グループ  
電話 0987-25-1115  
メールアドレス：E-mail：ky-miyanan@maff.go.jp
- ③ その他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又は F A X によるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。

(3) 申請書等は入札説明書により作成すること。

(4) 上記(2)に規定する期限までに申請書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争に参加できない。

(5) 省略を認める書類

過去 3 年間（令和 2 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）に完成した工事で森林管理局长等発注の森林土木工事に係る工事成績評定通知書（写）の添付については、本公告による競争参加資格申請が今年度の 2 回目以降の申請であり、既に前回までの申請書に添付している場合には、様式に工事名、工事成績評定点等を記載した上で「〇〇森林管理（局、（支）署）令和〇〇年〇〇月〇〇日入札の〇〇工事において提出済み」と記載すれば再度の添付を要しない。（入札説明書を参照のこと）

### 4 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は次の方法により落札者を決定する方式とする。

- ① 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点 100 点を付与する。
- ② 上記 3 (1) の総合評価資料により示された実績等により最大 30 点の加算点及び最大 30 点の施工体制評価点を付与する。
- ③ 付与された標準点、加算点及び施工体制評価点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値（以下「評価値」という。）を用いて落札者を決定する。  
その評価項目等の概要は、次に示すとおりとするが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

## (2) 評価項目

評価項目は、次に示すとおりである。

- ① 施工能力等に関する事項
- ② 信頼性・社会性に関する事項
- ③ 施工体制（品質確保の実効性、施工体制確保の確実性）に関する事項

なお、①及び②の項目で最大 30 点の加算点、③の項目で最大 30 点の施工体制評価点とする。

## (3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格をもって入札する。標準点に加算点を加えた点数をその入札価格で除して得られる評価値（ $\text{評価値} = \{ (\text{標準点} + \text{加算点} + \text{施工体制評価点}) / (\text{入札価格}) \}$ ）を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。ただし、予定価格が 1 千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件をすべて満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- ① 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
- ② 評価値が標準点（100 点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

## 5 入札手続等

### (1) 担当部局

〒 8 8 9 - 2 5 3 5 宮崎県日南市飫肥 5 - 3 - 4 5

宮崎南部森林管理署 総務グループ

電話 0 9 8 7 - 2 5 - 1 1 1 5

メールアドレス : E-mail : ky-miyanan@maff. go. jp

## (2) 入札説明書等の配布期間、場所及び方法

入札説明書等（図面類を含む。）は、本公告の日から入札日の前日までの期間において電子入札システムを用いて入手できる。

なお、電子入札システムによりがたい場合は次に掲げるところによる。

- ① 配布期間：令和5年10月27日から令和5年11月28日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時までを除く。）とする。
- ② 場 所：〒889-2535 宮崎県日南市飫肥5-3-45  
宮崎南部森林管理署 総務グループ  
電話 0987-25-1115
- ③ 図面類は閲覧によること。
- ④ 配布資料は無料である。

## (3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、郵送等による提出は認めない。

- ① 電子入札システムによる入札の締切りは、令和5年11月29日10時00分。
- ② 紙入札方式により入札の締切りは、令和5年11月29日10時00分とし、宮崎南部森林管理署入札室において入札。
- ③ 開札は、令和5年11月29日10時05分に、宮崎南部森林管理署入札室において行う。
- ④ 紙入札方式による入札の執行に当たっては、分任支出負担行為担当官により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を持参すること。

## 6 その他

### (1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

### (2) 入札保証金及び契約保証金

- ① 入札保証金 免除
- ② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行日南代理店）。ただし、金融機関又は保証事業会社（「公共工事の前払金保証事業に関する法律」（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁 宮崎南部森林管理署）をもって契約保証金の納付に代えることができる。  
また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

### (3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。紙入札方式による場合は、入札書とともに工事費内訳書を提出すること。

なお、当該工事費内訳書の提出のない者のした入札、及び不備等があった者の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

この場合には、「工事請負契約指名停止等措置要領」第1第1項の規定に基づく指名停止又は第10の規定に基づく書面若しくは口頭での警告若しくは注意の喚起を行うことがある。

(5) 配置予定主任（監理）技術者の確認

落札者決定後、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム（CORINS）」等により配置予定の主任（監理）技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を締結しないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置予定主任（監理）技術者の変更は認めない。

(6) 低入札価格調査を受けた者と契約する場合は、建設業法の定めにより配置する技術者とは別に2の(5)に定める要件と同一の要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置することとする。

(7) 契約書作成の要否

作成を要する。

(8) 関連情報を入手するための照会窓口

上記5(1)に同じ。

(9) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(2)により申請書等を提出することができる。ただし、競争に参加するには、開札の時に、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(10) 申請書等の内容のヒアリング

原則として行わない。ただし、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(11) 施工体制確認のためのヒアリング

施工体制確認のためのヒアリングを実施するとともに、その際、追加資料の提出を

求めることがある。

(12) 本案件は、入札及び資料の提出等を電子入札システムにより行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（平成16年7月 林野庁）による。

(13) 本公告に係る森林土木工事請負契約における契約約款は、こちらからダウンロードされたい。

詳しくは当森林管理局のホームページ

[http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku\\_yakkan/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku_yakkan/index.html)

を確認すること。

なお、上記ダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とする。

(14) 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、「農林水産省発注者綱紀保持規程」（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規定第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。

（不当な働きかけ）

- ① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
- ② 指名競争入札において自らを指名すること又は他社を指名しないことの依頼
- ③ 自らが受注すること又は他社に受注させないことの依頼
- ④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取
- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

詳しくは当森林管理局のホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/apply/publicsale/koubo/index.html>

を確認すること。

(15) 本工事については、受注者が追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する場合に設計変更の協議の対象となる。受注者からの申し出により、受注者による施工計画書への反映と確実な履行を前提として設計変更を行い、必要に応じて請負代金額の変更や工期の延長を行う。

(別紙)

## 競争参加資格確認結果書

- 1 工事名 鶴園2063林道新設工事  
2 所属事務所 宮崎南部森林管理署  
3 入札公告日 令和5年10月27日  
4 競争参加資格確認結果通知期限 令和5年11月15日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
大平開発株式会社 代表取締役 津曲 道孝	有	
永野建設株式会社 代表取締役 永野 真哉	有	
有限会社高橋建設 代表取締役 高橋 浩文	有	

(備考)

- 1 「資格の有無」の欄には、資格があると認めた場合には「有」と記載し、資格がないと認めた場合には「無」と記載すること。
- 2 「資格がないと認めた理由」の欄には、入札公告において示した「競争に参加する者に必要な資格に関する事項」のどの事項を満たさなかったのかを記載すること。

## 入札執行調書

調達案件番号(第003807013020230007号)		調達案件名称			鶴園2063林道新設工事			
業者名称	技術評価点				入札第1回			備考
	総計	標準点	技術提案加算点 換算加算点(小計)	企業評価	金額	評価値	順位	
大平開発(株)	156	100	56	26	67,400,000	23.145	1	落札
(有)高橋建設	154	100	54	24	68,300,000	22.547	2	
永野建設(株)					68,800,000			

(注)上記金額は、入札者が見積もった金額の110分の100に相当する金額である。

入札執行月日                      令和05年11月29日

開札結果は上記の金額の通り相違ありません。

  

執行官                              福嶋 貢史

---

立会・確認職員                      後藤 彰彦

---

塩谷 幸子

---





# 明 細 表

1	土工	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
	L=436.6m W=3.6m	宮崎南部森林管理署	本署	宮崎	64	串間9	534
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
71	[ 施工延長 ]		484.60	m	0	0	
7001	粘性土切土		1,658.00	m3	1,011	1,676,238	
7002	礫質土切土		2,096.00	m3	1,064	2,230,144	
7003	岩塊・玉石切土		49.00	m3	1,515	74,235	
7004	軟岩(Ⅰ)A切土		1,339.00	m3	1,401	1,875,939	
7005	軟岩(Ⅰ)B切土		1,648.00	m3	2,532	4,172,736	
7006	軟岩(Ⅱ)切土		84.00	m3	5,838	490,392	
7007	流用盛土		910.00	m3	793	721,630	
7009	運搬盛土 40m		104.00	m3	1,254	130,416	
7010	運搬残土 620m		5,172.00	m3	1,784	9,226,848	
7011	盛土法面整形 礫質土	排出ガス対策型 BH山積0.45m3 [0.35m3] 削取り整形	3,489.00	m2	369	1,287,441	
7012	種子吹付工		3,489.00	m2	235	819,915	
7013	木柵工(E)		46.00	m	15,478	711,988	
7014	路盤工 20cm	BH山積0.28m3[0.2m3] 舗装面仕上げ有り	2,276.00	m2	1,255	2,856,380	
7015	布団かご工	スロープ式	12.00	m	13,270	159,240	
7041	木製柵工	L=1.50m	7.00	基	17,677	123,739	
頁 計						26,557,281	
計						[26557281]	26,557,000
割出単価						54,801	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				6,308,008	
	金額計の内	労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				8,235,348	
	金額計の内	形成材料				2,450,136	
	金額計の内	機械賃料 週休2日補正係数(1.04)				852,494	



# 明 細 表

3	擁壁工Ⅱ	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
	コンクリート擁壁工⑤	宮崎南部森林管理署	本署	宮崎	64	串間9	534
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[ 施 工 々 種 ]		12.00	工種	0	0	
7036	コンクリート打設・養生	無筋・鉄筋 ポンプ車打設	41.00	m3	30,070	1,232,870	
7037	型枠工	無筋・鉄筋構造物	56.90	m2	8,281	471,188	
5220	手すり先行型枠組足場工		22.50	掛m2	3,985	89,662	
5222	単管傾斜足場工		25.20	掛m2	3,137	79,052	
556	硬質塩化ビニール管(VU)	呼径50 D60×t1.8mm	5.60	m	240	1,344	
2944	水抜きフィルター	NKフィルター 50F	4.00	個	120	480	
7032	基面整正	人力	13.50	m2	365	4,927	
4426	床堀 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH 地山 制限一 障害有	15.00	m3	526	7,890	
4427	床堀 岩塊・玉石・軟岩(I)A	0.45BH 地山 制限一 障害有	15.00	m3	751	11,265	
4437	大型ブレードカ床掘Ⅱ 軟岩(I)B	1,300kg 0.80BH 110%	66.00	m3	2,487	164,142	
7035	埋戻工D	タンパ	9.00	m3	2,614	23,526	
7038	埋戻工	最大埋戻幅1m以上4m未満	40.00	m3	1,685	67,400	
頁 計						2,153,746	
計						[2153746]	2,153,000
割出単価						179,416	
(備考)	金額計の内 労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)					773,979	
	金額計の内 労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)					76,435	
	金額計の内 形成材料					1,048,492	
	金額計の内 機械賃料 週休2日補正係数(1.04)					29,779	

# 明 細 表

4	擁壁工Ⅲ	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
	コンクリート擁壁工⑦	宮崎南部森林管理署	本署	宮崎	64	串間9	534
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[ 施 工 々 種 ]		12.00	工種	0	0	
7042	コンクリート打設・養生	無筋・鉄筋 ハックホウ(クレーン付き)打設	15.60	m3	38,070	593,892	
7037	型枠工	無筋・鉄筋構造物	30.50	m2	8,281	252,570	
5220	手すり先行型枠組足場工		11.30	掛m2	3,985	45,030	
5222	単管傾斜足場工		12.40	掛m2	3,137	38,898	
556	硬質塩化ビニール管(VU)	呼径50 D60×t1.8mm	3.10	m	240	744	
2944	水抜きフィルター	NKフィルター 50F	3.00	個	120	360	
7032	基面整正	人力	7.50	m2	365	2,737	
4426	床堀 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH 地山 制限一 障害有	3.00	m3	526	1,578	
4427	床堀 岩塊・玉石・軟岩(I)A	0.45BH 地山 制限一 障害有	4.00	m3	751	3,004	
4437	大型ブレード床掘Ⅱ 軟岩(I)B	1,300kg 0.80BH 110%	26.00	m3	2,487	64,662	
7035	埋戻工D	タンパ	3.00	m3	2,614	7,842	
7038	埋戻工	最大埋戻幅1m以上4m未満	14.00	m3	1,685	23,590	
頁 計						1,034,907	
計						[1034907]	1,034,000
割出単価						86,166	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				459,861	
	金額計の内	労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				55,404	
	金額計の内	形成材料				405,915	
	金額計の内	機械賃料 週休2日補正係数(1.04)				39,178	





# 明 細 表

7	溝渠工	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)		(事務所名)		サブブロック	
		宮崎南部森林管理署		本署		宮崎	64
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[ 施 工 々 種 ]		10.00	工種	0	0	
7016	鉄筋コンクリート横断溝 150S型	単独施工 床堀0.45BH 障害無	20.00	m	12,404	248,080	
7017	鉄筋コンクリート横断溝 300型	横断溝保護工と組合せ 床堀0.45BH 障害無	22.00	m	58,431	1,285,482	
7018	鉄筋コンクリート横断溝 400型	横断溝保護工と組合せ 床堀0.45BH 障害無	6.30	m	73,690	464,247	
7019	横断溝保護工	厚0.15m	67.90	m2	8,600	583,940	
7020	コルゲートフリューム	A-400×400mm	5.00	m	16,070	80,350	
7021	コルゲートフリューム	A-600×600mm	9.00	m	20,110	180,990	
7022	コルゲートフリューム	A-700×700mm	12.00	m	22,210	266,520	
7026	暗渠配水管	網状管 トラソパイφ150	26.00	m	3,530	91,780	
7028	張コンクリート(呑口)	厚10cm 基床材10cm	3.00	m2	4,195	12,585	
7029	路床排水工	再生クラッシャーラン パイプ無し	24.30	m	333	8,091	
頁 計						3,222,065	
計						[3222065]	3,222,000
割出単価						322,200	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				405,973	
	金額計の内	労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				61,005	
	金額計の内	形成材料				2,677,974	
	金額計の内	機械賃料 週休2日補正係数(1.04)				55,542	

# 明 細 表

8	その他工種	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		宮崎南部森林管理署	本署	宮崎	64	串間9	534
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施工々種]		2.00	工種	0	0	
3702	支障木処理費		1.00	式	3,927,000	3,927,000	
4310	枝条片付 1種	人力	6,116.00	m2	77	470,932	
頁 計						4,397,932	
計						[4397932]	4,397,000
割出単価						2,198,500	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		470,932	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)				0	
	金額計の内	形成材料				0	
	金額計の内	機械賃料				0	



# 明 細 表

○ 1# 点在箇所A



10	間接工事費 現場管理費	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																																																																																																					
	(構造)	宮崎南部森林管理署	本署	64	534	宮崎																																																																																																																																					
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																																																																																																					
	現 場 管 理 費		1.0	式	-	13,989,000																																																																																																																																					
	計					13,989,000																																																																																																																																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">A 直接工事費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">38,955,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>B 純工事費</td> <td>(支給品費等含まない)</td> <td style="text-align: right;">43,745,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C 産業廃棄物処分費等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>D 現場管理費算定対象額</td> <td>(B - C)</td> <td style="text-align: right;">43,745,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>E 現場管理费率</td> <td>(Dで算定)</td> <td style="text-align: right;">30.17 %</td> <td colspan="4">8 道路工事</td> </tr> <tr> <td>F 施工時期補正 設定工期</td> <td>(標準工期)</td> <td style="text-align: center;">日 (</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">289 日)</td> </tr> <tr> <td>G 冬期期間内工期</td> <td></td> <td style="text-align: center;">日</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>H 級地区分補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.00</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>I 冬期率(I年度内工期率)</td> <td>(G/F * 100)</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>J 冬期補正率</td> <td>(H * I / 100)</td> <td style="text-align: center;">0.00 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>K 真夏日</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0 日</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>L 真夏日率</td> <td>(K / F * 100)</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>M 熱中症対策補正率</td> <td>(L * 1.2 / 100)</td> <td style="text-align: center;">0.00 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>N 施工地域補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>O 週休2日補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.06</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>P 補正現場管理费率</td> <td>(E * N + (J + M)) * O</td> <td style="text-align: right;">31.98 %</td> <td colspan="4">(J + Mの最大は2.0%)</td> </tr> <tr> <td>Q 算定現場管理費</td> <td>(D * P / 100)</td> <td style="text-align: right;">13,989,651 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>R 端数切捨額</td> <td>(千円止)</td> <td style="text-align: right;">-651 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>S 現場管理費</td> <td>(Q + R)</td> <td style="text-align: right;">13,989,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>							A 直接工事費		38,955,000 円					B 純工事費	(支給品費等含まない)	43,745,000 円					C 産業廃棄物処分費等		0 円					D 現場管理費算定対象額	(B - C)	43,745,000 円					E 現場管理费率	(Dで算定)	30.17 %	8 道路工事				F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)	日 (	289 日)				G 冬期期間内工期		日					H 級地区分補正係数		0.00					I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %					J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %					K 真夏日		0 日					L 真夏日率	(K / F * 100)	0 %					M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %					N 施工地域補正係数		1.00					O 週休2日補正係数		1.06					P 補正現場管理费率	(E * N + (J + M)) * O	31.98 %	(J + Mの最大は2.0%)				Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	13,989,651 円					R 端数切捨額	(千円止)	-651 円					S 現場管理費	(Q + R)	13,989,000 円				
A 直接工事費		38,955,000 円																																																																																																																																									
B 純工事費	(支給品費等含まない)	43,745,000 円																																																																																																																																									
C 産業廃棄物処分費等		0 円																																																																																																																																									
D 現場管理費算定対象額	(B - C)	43,745,000 円																																																																																																																																									
E 現場管理费率	(Dで算定)	30.17 %	8 道路工事																																																																																																																																								
F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)	日 (	289 日)																																																																																																																																								
G 冬期期間内工期		日																																																																																																																																									
H 級地区分補正係数		0.00																																																																																																																																									
I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %																																																																																																																																									
J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
K 真夏日		0 日																																																																																																																																									
L 真夏日率	(K / F * 100)	0 %																																																																																																																																									
M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
N 施工地域補正係数		1.00																																																																																																																																									
O 週休2日補正係数		1.06																																																																																																																																									
P 補正現場管理费率	(E * N + (J + M)) * O	31.98 %	(J + Mの最大は2.0%)																																																																																																																																								
Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	13,989,651 円																																																																																																																																									
R 端数切捨額	(千円止)	-651 円																																																																																																																																									
S 現場管理費	(Q + R)	13,989,000 円																																																																																																																																									
備考																																																																																																																																											

## 明 細 表

11	一般管理費等																																																																																																																																																								
(構造) 計算内容は下記参照		(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																																																																																																																			
		宮崎南部森林管理署	本署	64	534	宮崎																																																																																																																																																			
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																																																																																																																			
	一般管理費等		1.0	式	-	10,576,000																																																																																																																																																			
	計					10,576,000																																																																																																																																																			
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">○ 工事原価</td> <td style="width: 30%;">点在箇所A</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">57,734,000</td> <td style="width: 10%;">円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td></td> </tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>円</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>A</td> <td>一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">57,734,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>一般管理費等率 (Aで算定)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">18.28</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.00</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>補正一般管理費等率 (B * C)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">18.28</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>率部一般管理費等額 (A * D / 100)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">10,553,775</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>契約保証補正值</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0.04</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>契約保証補正額 (A * F / 100)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">23,093</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H</td> <td>算定一般管理費等 (E + G)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">10,576,868</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>採用一般管理費等 (千円止)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">10,576,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							○ 工事原価	点在箇所A		57,734,000	円							円							円							円							円							円							円							円							円							円							円							円			A	一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)		57,734,000	円			B	一般管理費等率 (Aで算定)		18.28	%			C	補正係数		1.00				D	補正一般管理費等率 (B * C)		18.28	%			E	率部一般管理費等額 (A * D / 100)		10,553,775	円			F	契約保証補正值		0.04	%			G	契約保証補正額 (A * F / 100)		23,093	円			H	算定一般管理費等 (E + G)		10,576,868	円			I	採用一般管理費等 (千円止)		10,576,000	円		
○ 工事原価	点在箇所A		57,734,000	円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
				円																																																																																																																																																					
A	一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)		57,734,000	円																																																																																																																																																					
B	一般管理費等率 (Aで算定)		18.28	%																																																																																																																																																					
C	補正係数		1.00																																																																																																																																																						
D	補正一般管理費等率 (B * C)		18.28	%																																																																																																																																																					
E	率部一般管理費等額 (A * D / 100)		10,553,775	円																																																																																																																																																					
F	契約保証補正值		0.04	%																																																																																																																																																					
G	契約保証補正額 (A * F / 100)		23,093	円																																																																																																																																																					
H	算定一般管理費等 (E + G)		10,576,868	円																																																																																																																																																					
I	採用一般管理費等 (千円止)		10,576,000	円																																																																																																																																																					
備考 係数は四捨五入 金額は切捨																																																																																																																																																									

## 割 増 単 価 表

7001 粘性土切土		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1658 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4353	掘削 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH 地山 10,000m3未満	226.00	m3	401	90,626	
4445	片切掘削 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH	1,433.00	m3	781	1,119,173	
4541	切土法面整形 砂・砂質土,粘性土	排出ガス対策型 BH山積0.45m3 [0.35m3]	587.00	m2	795	466,665	
計		週休:4週8休以上				1,676,464	
		単 価	1.0 m3当り			1,011	
		単価の内労務費の金額				713	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7002 礫質土切土		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	2096 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4353	掘削 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH 地山 10,000m3未満	338.00	m3	401	135,538	
4445	片切掘削 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH	1,758.00	m3	781	1,372,998	
4542	切土法面整形 礫質土	排出ガス対策型 BH山積0.45m3 [0.35m3]	742.00	m2	973	721,966	
計		週休:4週8休以上				2,230,502	
		単 価	1.0 m3当り			<b>1,064</b>	
		単価の内労務費の金額				748	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7003 岩塊・玉石切土		宮崎南部森林管理署 本署						
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位		
		宮崎	64	串間9	534	49 m3		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
4446	片切掘削 岩塊・玉石・軟岩(I)A	0.45BH	49.00	m3	1,032	50,568		
4543	切土法面整形 岩塊・玉石,軟1A	排出ガス対策型 BH山積0.45m3 [0.35m3]	17.00	m2	1,393	23,681		
計		週休:4週8休以上					74,249	
		単 価	1.0 m3当り		1,515			
		単価の内労務費の金額					1,105	
		単価の内形成材料の金額					0	
[摘要]								

## 割 増 単 価 表

7004 軟岩(I)A切土		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1339 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4354	掘削 岩塊・玉石・軟岩(I)A	0.45BH 地山 10,000m3未満	334.00	m3	536	179,024	
4446	片切掘削 岩塊・玉石・軟岩(I)A	0.45BH	1,004.00	m3	1,032	1,036,128	
4543	切土法面整形 岩塊・玉石,軟1A	排出ガス対策型 BH山積0.45m3 [0.35m3]	474.00	m2	1,393	660,282	
計		週休:4週8休以上				1,875,434	
		単 価	1.0 m3当り		1,401		
		単価の内労務費の金額				993	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7005 軟岩(I)B切土		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1648 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4463	大型ブレーカ掘削 軟岩(I)B	1,300kg 0.80BH 110%	253.00	m3	1,324	334,972	
4475	人力併用掘削 軟岩(I)B	0.80BH	1,396.00	m3	2,749	3,837,604	
計		週休:4週8休以上				4,172,576	
		単 価	1.0 m3当り			<b>2,532</b>	
		単価の内労務費の金額				1,620	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7006 軟岩(Ⅱ)切土		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	84 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4464	大型ブレーカ掘削 軟岩(Ⅱ)	1,300kg 0.80BH 110%	84.00	m3	1,626	136,584	
4476	人力併用掘削 軟岩(Ⅱ)	0.80BH	84.00	m3	3,781	317,604	
6050	破碎岩処理 礫質土	0.45BH ルーズ 制限有 障害無 10,000m3未満	84.00	m3	431	36,204	
計		週休:4週8休以上				490,392	
		単 価			1.0 m3当り	<b>5,838</b>	
		単価の内労務費の金額				2,987	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7007 流用盛土		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4504	敷均し(路体・路床・築堤等)	3t級BD	1.00	m3	345	345	
4507	締固め(路体・築堤等)	搭乗式コンバインド型 3-4t	1.00	m3	448	448	
計		週休:4週8休以上				793	
		単 価		1.0 m3当り		<b>793</b>	
		単価の内労務費の金額				546	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7008 盛土・残土の積込費		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	6874 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6029	積込 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH 地山 10,000m3未満 制限あり 障害あり	3,754.00	m3	89	334,106	
6030	積込 岩塊・玉石・軟岩(I)A	0.45BH 地山 10,000m3未満 制限あり 障害あり	1,388.00	m3	130	180,440	
6031	積込 軟岩(I)B・軟岩(II)	0.45BH 地山 10,000m3未満 制限あり 障害あり	1,732.00	m3	89	154,148	
計		週休:4週8休以上				668,694	
		単 価	1.0 m3当り			97	
		単価の内労務費の金額				47	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7009 運搬盛土 40m		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7008	盛土・残土の積込費		1.00	m3	97	97	
4106	不整地運搬車運転経費	クローラ型油圧式 6.0t積	1/28.5	時間	10,377	364	
4504	敷均し(路体・路床・築堤等)	3t級BD	1.00	m3	345	345	
4507	締固め(路体・築堤等)	搭乗式コンバインド型 3-4t	1.00	m3	448	448	
計		週休:4週8休以上				1,254	
		単 価			1.0 m3当り	<b>1,254</b>	
		単価の内労務費の金額				718	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7010 運搬残土 620m		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7008	盛土・残土の積込費		1.00	m3	97	97	
4092	ダンプトラック(普通)運転経費	10t積(0%)タイヤ普通	1/11.03	時間	9,856	894	
4504	敷均し(路体・路床・築堤等)	3t級BD	1.00	m3	345	345	
4507	締固め(路体・築堤等)	搭乗式コンバインド型 3-4t	1.00	m3	448	448	
計		週休:4週8休以上				1,784	
		単 価			1.0 m3当り	1,784	
		単価の内労務費の金額				934	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7011 盛土法面整形 礫質土		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共1-10-2	排出ガス対策型 BH山積0.45m3 [0.35m3] 削取り整形	宮崎	64	串間9	534	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.10	人	27,405	2,741	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.50	人	18,270	9,135	
4020	バックホウ運転経費	山積 0.45m3 [0.35m3] ( 0%)	3.10	時間	8,075	25,033	
計		週休:4週8休以上				36,909	
		単 価	1.0 m2当り		<b>369</b>		
		単価の内労務費の金額				245	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 4550							

## 割 増 単 価 表

7012 種子吹付工			宮崎南部森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3101	種子散布工【市単】	1,000㎡以上	1.02	m2	230	235	4週8休割増1.02
計		週休:4週8休以上				235	
		単 価			1.0 m2当り	235	
		単価の内労務費の金額				0	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 3101							





## 割 増 単 価 表

7015 布団かごエ		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) スロープ式	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8001	ふとんかご	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	13,270	13,270	
計		週休:4週8休以上				13,270	
		単 価		1.0 m当り		13,270	
		単価の内労務費の金額				3,929	
		単価の内形成材料の金額				8,595	
[摘要]							





## 割 増 単 価 表

7018 鉄筋コンクリート横断溝 400型		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
局共4-24	横断溝保護工と組合せ 床堀0.45BH 障害無	宮崎	64	串間9	534	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2833	鉄筋コンクリート横断溝	400型	10.00	m	66,900	669,000	
* 24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.30	人	27,405	8,222	
* 1	特殊作業員	令和5年3月労賃	0.30	人	24,675	7,403	
* 2	普通作業員	令和5年3月労賃	1.10	人	18,270	20,097	
* 3011	トラッククレーン賃料	4.9 t 吊 (ラジスジブ型・油圧伸縮ジブ型)	0.30	日	39,000	11,700	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	2.00	%	47,422	948	
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.03	人	27,405	822	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.23	人	18,270	4,202	
6216	基礎砕石工	20cm以下 0.80BH	8.40	m <sup>2</sup>	820	6,888	
4452	埋戻工D	タンバ	1.00	m <sup>3</sup>	2,614	2,614	
4424	床堀 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH 地山 制限一 障害無	4.00	m <sup>3</sup>	350	1,400	
3701	再生クラッシャーラン	40-0mm	1.00	m <sup>3</sup>	3,600	3,600	割増率20%
計		週休:4週8休以上				736,896	
		単 価			1.0 m当り	<b>73,690</b>	
		単価の内労務費の金額				5,004	
		単価の内形成材料の金額				67,260	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7019 横断溝保護工		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック			サブブロック		作成単位
局共4-2 5	厚0.15m	宮崎	64	串間9	534	9 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.02	人	27,405	548	
* 1	特殊作業員	令和5年3月労賃	0.21	人	24,675	5,182	
* 2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.32	人	18,270	5,846	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	5.00	%	11,576	579	
1008	路 盤 紙	クラフト紙系	10.08	m2	27	272	割増率12%
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.03	人	18,270	548	
328	丸鉄線溶接金網	6 150×150mm	8.93	m2	487	4,349	割増率10%
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.18	人	18,270	3,289	
4424	床堀 砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.45BH 地山 制限一 障害無	3.58	m3	350	1,253	
6216	基礎砕石工	20cm以下 0.80BH	10.24	m2	820	8,397	
3701	再生クラッシャーラン	40-0mm	2.50	m3	3,600	9,000	割増率20%
3703	生コンクリート	高炉18-8-40BB 小型車割増	1.40	m3	25,500	35,700	割増率4%
524	目地材(瀝青質板)	厚10mm	1.26	m2	1,935	2,438	
計		週休:4週8休以上				77,401	
		単 価			1.0 m2当り	<b>8,600</b>	
		単価の内労務費の金額				2,599	
		単価の内形成材料の金額				5,751	
[摘要] 生コン割増率4%							

## 割 増 単 価 表

7020 コルゲートフリューム		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) A-400×400mm	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8002	コルゲートフリューム据付	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	12,910	12,910	
6144	コルゲートフリューム止杭		1.00	m	3,160	3,160	
計		週休:4週8休以上				16,070	
		単 価			1.0 m当り	<b>16,070</b>	
		単価の内労務費の金額				5,198	
		単価の内形成材料の金額				10,306	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7021 コルゲートフリューム		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) A-600×600mm	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8003	コルゲートフリューム据付	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	16,950	16,950	
6144	コルゲートフリューム止杭		1.00	m	3,160	3,160	
計		週休:4週8休以上				20,110	
		単 価			1.0 m当り	20,110	
		単価の内労務費の金額				5,452	
		単価の内形成材料の金額				13,980	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7022 コルゲートフリューム		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) A-700×700mm	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8004	コルゲートフリューム据付	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	19,050	19,050	
6144	コルゲートフリューム止杭		1.00	m	3,160	3,160	
計		週休:4週8休以上				22,210	
		単 価			1.0 m当り	22,210	
		単価の内労務費の金額				5,452	
		単価の内形成材料の金額				16,081	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7023 暗渠配水管据付		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 網状管ネロンパイφ150	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8005	暗渠配水管据付	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	2,496	2,496	
計		週休:4週8休以上				2,496	
		単 価			1.0 m当り	<b>2,496</b>	
		単価の内労務費の金額				146	
		単価の内形成材料の金額				2,349	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7024 フィルター材		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 暗渠配水管用	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8006	フィルター材	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	8,006	8,006	
計		週休:4週8休以上				8,006	
		単 価			1.0 m3当り	<b>8,006</b>	
		単価の内労務費の金額				3,059	
		単価の内形成材料の金額				4,533	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7025 床掘		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 小規模土工 バックホウ0.28m3	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8007	床掘	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	1,944	1,944	
計		週休:4週8休以上				1,944	
		単 価			1.0 m3当り	1,944	
		単価の内労務費の金額				1,344	
		単価の内形成材料の金額				174	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7026 暗渠配水管		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 網状管補ロパイφ150	メインブロック		サブブロック		作成単位	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7023	暗渠配水管据付	網状管補ロパイφ150	1.00	m	2,496	2,496	
7024	フィルター材	暗渠配水管用	0.10	m3	8,006	801	
7025	床堀	小規模土工 ハックホウ0.28m3	0.12	m3	1,944	233	
計		週休:4週8休以上				3,530	
		単 価			1.0 m当り	<b>3,530</b>	
		単価の内労務費の金額				613	
		単価の内形成材料の金額				2,823	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7027 コンクリート打設・養生		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 無筋・鉄筋構造物 人力	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8008	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	34,340	34,340	
計		週休:4週8休以上				34,340	
		単 価		1.0 m3当り		<b>34,340</b>	
		単価の内労務費の金額				7,039	
		単価の内形成材料の金額				27,291	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7028 張コンクリート(呑口)		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
局共4-2 13	厚10cm 基床材10cm	宮崎	64	串間9	534	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5313	人力敷均し(不陸整正+敷均し)	舗装面仕上げ無し	100.00	m2	329	32,900	
3701	再生クラッシャーラン	40-0mm	12.00	m3	3,600	43,200	割増率20%
7027	コンクリート打設・養生	無筋・鉄筋構造物 人力	10.00	m3	34,340	343,400	
計		週休:4週8休以上				419,500	
		単 価			1.0 m2当り	<b>4,195</b>	
		単価の内労務費の金額				1,033	
		単価の内形成材料の金額				3,161	
[摘要] 生コン打設・養生(無筋) 10.0m3 施工P加算							

## 割 増 単 価 表

7029 路床排水工		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック			サブブロック		作成単位
局共4-2 11	再生クラッシャーラン パイプ無し	宮崎	64	串間9	534	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7025	床堀	小規模土工 ハックホウ0.28m3	0.06	m3	1,944	117	
3701	再生クラッシャーラン	40-0mm	0.06	m3	3,600	216	
計		週休:4週8休以上				333	
		単 価			1.0 m当り	<b>333</b>	
		単価の内労務費の金額				81	
		単価の内形成材料の金額				226	
[摘要] 施工P:フィルター材0.06m3 を別途加算 標準図参照							

## 割 増 単 価 表

7030 胴込・裏込材(碎石)		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8009	胴込・裏込材(碎石)	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	9,085	9,085	
計		週休:4週8休以上				9,085	
		単 価			1.0 m3当り	<b>9,085</b>	
		単価の内労務費の金額				3,975	
		単価の内形成材料の金額				4,294	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7031 コンクリートブロック積		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
	胴込・裏込材(砕石)有り 1型	宮崎	64	串間9	534	34.4 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3353	コンクリートブロック積工(手間のみ)【標準】	昼間施工	34.40	m2	12,520	430,688	
3824	コンクリートブロック		34.40	m2	6,920	238,048	
3703	生コンクリート	高炉18-8-40BB 小型車割増	14.60	m3	25,500	372,300	割増率12%
7030	胴込・裏込材(砕石)		6.00	m3	9,085	54,510	
計		週休:4週8休以上				1,095,546	
		単 価		1.0 m2当り		<b>31,847</b>	
		単価の内労務費の金額				693	
		単価の内形成材料の金額				18,492	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7032 基面整正		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 人力	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8010	基面整正	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	365	365	
計		週休:4週8休以上				365	
		単 価		1.0 m2当り		<b>365</b>	
		単価の内労務費の金額				365	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7033		コンクリートブロック積基礎(A)	宮崎南部森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
	バックホウ(クレーン機能付き)打設	宮崎	64	串間9	534	1 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8011	現場打基礎コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	0.18	m3	79,070	14,233	
計		週休:4週8休以上				14,233	
		単 価			1.0 m当り	<b>14,233</b>	
		単価の内労務費の金額				8,072	
		単価の内形成材料の金額				5,781	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7034		コンクリートブロック積天端コンクリート			宮崎南部森林管理署 本署			
コードNo	(構造)	メインブロック			サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
8012	天端コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	0.06	m3	63,060	3,784		
計		週休:4週8休以上				3,784		
		単 価			1.0 m当り	<b>3,784</b>		
		単価の内労務費の金額				1,992		
		単価の内形成材料の金額				1,674		
[摘要]								

## 割 増 単 価 表

7035 埋戻工D		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック			サブブロック		作成単位
共1-4 3(1)	タンパ	宮崎	64	串間9	534	100 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和5年3月労賃	7.00	人	18,270	127,890	
4453	タンパ締固め	埋戻工	100.00	m3	1,335	133,500	
計		週休:4週8休以上				261,390	
		単 価			1.0 m3当り	<b>2,614</b>	
		単価の内労務費の金額				2,567	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7036 コンクリート打設・養生		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 無筋・鉄筋 ポンプ車打設	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8013	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	30,070	30,070	
計		週休:4週8休以上				30,070	
		単 価		1.0 m3当り		<b>30,070</b>	
		単価の内労務費の金額				3,598	
		単価の内形成材料の金額				25,428	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7037 型枠工		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 無筋・鉄筋構造物	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8014	型枠	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	8,281	8,281	
計		週休:4週8休以上				8,281	
		単 価			1.0 m2当り	8,281	
		単価の内労務費の金額				8,280	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7038 埋戻工		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 最大埋戻幅1m以上4m未満	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8015	埋戻し	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	1,685	1,685	
計		週休:4週8休以上				1,685	
		単 価			1.0 m3当り	<b>1,685</b>	
		単価の内労務費の金額				1,356	
		単価の内形成材料の金額				103	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7039 コンクリート打設・養生		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 小型構造物・人力打設	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8016	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	38,960	38,960	
計		週休:4週8休以上				38,960	
		単 価		1.0 m3当り		<b>38,960</b>	
		単価の内労務費の金額				11,917	
		単価の内形成材料の金額				27,041	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7040 型枠工		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 小型構造物	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8017	型枠	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	7,446	7,446	
計		週休:4週8休以上				7,446	
		単 価	1.0 m2当り		<b>7,446</b>		
		単価の内労務費の金額				7,445	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7041 木製枠工		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo 局共7-1(3)	(構造) L=1.50m	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	10 基	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2923	木製枠工	L=1.5m	10.00	基	13,200	132,000	
1022	吸出防止材 [ヤシ繊維系]	t=10mm ( 68)	12.00	m2	495	5,940	
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.14	人	27,405	3,837	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.48	人	18,270	8,770	
4020	バックホウ運転経費	山積 0.45m3 [0.35m3] ( 0%)	1.13	時間	8,075	9,125	
3704	割栗石(基礎用)	50~150mm	3.80	m3	4,500	17,100	
計		週休:4週8休以上				176,772	
		単 価			1.0 基当り	17,677	
		単価の内労務費の金額				1,720	
		単価の内形成材料の金額				15,504	
[摘要]							

## 割 増 単 価 表

7042 コンクリート打設・養生		宮崎南部森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 無筋・鉄筋 バックホウ(クレーン付き)打設	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	串間9	534	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8018	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	38,070	38,070	
計		週休:4週8休以上				38,070	
		単 価			1.0 m3当り	<b>38,070</b>	
		単価の内労務費の金額				10,626	
		単価の内形成材料の金額				25,857	
[摘要]							



# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称				積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
コルゲートフリューム据付				m	11,598.00	12,910.00	8002	施工パ-093-1	
条件区分									
作業区分		据付							
規格		A-400 × 400mm							
機労材		代表規格				構成比	基準単価	宮崎	
K(機械)						*印: 賃料	4.25		
	K1	バックホウ(クローラ型)[後方起小旋回型・低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t				*	4.25	7,050	8,011
	K2	-					-		
	K3	-					-		
R(労務)							28.64		
	R1	運転手(特殊)					10.60	24,600	25,410
	R2	普通作業員					9.31	21,600	18,270
	R3	土木一般世話役					6.59	25,500	27,405
	R4	特殊作業員					2.12	24,700	24,675
Z(材料)							67.11		
	Z1	コルゲートU型フリューム A形 400 × 400mm 板厚1.6mm					65.58	7,600	8,870
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油					1.53	115	139
	Z3	-					-		
	Z4	-					-		
S(市場単価)		-					-		
計算式									
$\text{積算単価} = 11,598.00 \times \left\{ \left( \frac{4.25}{100} \times \frac{8,011}{7,050} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{4.25}{--} + \left( \frac{10.60}{100} \times \frac{25,410}{24,600} + \frac{100}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{6.59}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{2.12}{100} \times \frac{24,675}{24,700} \right) \times \frac{28.64}{--} + \left( \frac{65.58}{100} \times \frac{8,870}{7,600} + \frac{1.53}{100} \times \frac{139}{115} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{67.11}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100}{100} \times \frac{4.25}{--} + \frac{28.64}{100} + \frac{67.11}{0.00} \right\}$									
積算単価 = 12,910.00									
週休: 4週8休以上									









# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称				積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.
床掘				m3	2,000.30	1,944.00	8007	施工パ-015-23
条件区分								
土質		土砂						
施工方法		上記以外(小規模)						
土留方式の種類		-						
障害の有無		-						
機労材		代表規格				構成比	基準単価	宮崎
K(機械)						*印: 賃料	21.91	
	K1	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)					21.91	8,920
	K2	-					-	
	K3	-					-	
R(労務)							70.90	
	R1	運転手(特殊)					38.51	24,600
	R2	普通作業員					32.39	21,600
	R3	-					-	
	R4	-					-	
Z(材料)							7.19	
	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油					7.19	115
	Z2	-					-	
	Z3	-					-	
	Z4	-					-	
S(市場単価)		-					-	
計算式								
$\begin{aligned} \text{積算単価} &= 2,000.30 \times \left\{ \left( \frac{21.91}{100} \times \frac{8,670}{8,920} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{21.91}{21.91} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right\} \\ &+ \left( \frac{38.51}{100} \times \frac{25,410}{24,600} + \frac{32.39}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{70.90}{100} \times \frac{--}{--} \right) \times \frac{70.90}{38.51 + 32.39 + -- + --} \\ &+ \left( \frac{7.19}{100} \times \frac{139}{115} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{7.19}{7.19 + -- + -- + --} \\ &+ \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{21.91}{100} + \frac{70.90}{100} + \frac{7.19}{100} + \frac{0.00}{100} \end{aligned}$								
積算単価 = 1,944.00								
週休:4週8休以上								

# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
コンクリート	m3	23,623.00	34,340.00	8008	施工パ-141-28	
条件区分						
構造物種別	無筋・鉄筋構造物					
打設工法	人力打設					
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)					
設計日打設量	-					
養生工の種類	一般養生					
圧送管延長距離区分	-					
現場内小運搬の有無	無し					
打設高さ、水平打設距離	-					
機労材 代表規格						
K(機械)				*印:賃料	0.00	
K1	-					
K2	-					
K3	-					
R(労務)					31.59	
R1	普通作業員				14.17	21,600
R2	特殊作業員				8.26	24,700
R3	土木一般世話役				7.01	25,500
R4	-					
Z(材料)					68.41	
Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55% 18-8-40BB 小型構造物 串間9 小型車割増				68.41	15,100
Z2	-					
Z3	-					
Z4	-					
S(市場単価)	-					
計算式						
$\begin{aligned} \text{積算単価} &= 23,623.00 \times \left\{ \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0.00}{0} + \left( \frac{14.17}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{8.26}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{7.01}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{31.59}{68.41} + \left( \frac{68.41}{100} \times \frac{25,500}{15,100} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{68.41}{68.41} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0.00}{100} - \frac{31.59}{100} - \frac{68.41}{100} \right\} \\ \text{積算単価} &= 34,340.00 \end{aligned}$						
週休:4週8休以上						





# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
現場打基礎コンクリート	m3	67,297.00	79,070.00	8011	施工パ-047-1	
条件区分						
生コンクリート規格	18-8-25(高炉)					
基礎碎石の有無	有り					
養生工の種類	一般養生・特殊養生(練炭)					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)	*印:賃料			2.53		
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t			*	9,840	11,991
K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m3(平積0.6m3)			*	8,800	11,149
K3	-			-		
R(労務)				69.84		
R1	型わく工			20.39	26,300	25,830
R2	普通作業員			20.12	21,600	18,270
R3	土木一般世話役			10.15	25,500	27,405
R4	特殊作業員			8.58	24,700	24,675
Z(材料)				27.63		
Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60% 18 18-8-40BB 小型車割増			22.83	14,500	25,500
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			1.38	115	139
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)	-			-		
計算式						
$\begin{aligned} \text{積算単価} &= 67,297.00 \times \left\{ \left( \frac{1.78}{100} \times \frac{11,991}{9,840} + \frac{0.75}{100} \times \frac{11,149}{8,800} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{2.53}{--} \right. \\ &+ \left( \frac{20.39}{100} \times \frac{25,830}{26,300} + \frac{20.12}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{10.15}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{8.58}{100} \times \frac{24,675}{24,700} \right) \times \frac{69.84}{--} \\ &+ \left( \frac{22.83}{100} \times \frac{25,500}{14,500} + \frac{1.38}{100} \times \frac{139}{115} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{27.63}{--} \\ &+ \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{--}{100} \times \frac{2.53}{--} + \frac{69.84}{100} + \frac{27.63}{0.00} \left. \right\} \\ \text{積算単価} &= 79,070.00 \end{aligned}$						
週休:4週8休以上						



# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称		積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
コンクリート		m3	21,280.00	30,070.00	8013	施工パ-141-6	
条件区分							
構造物種別	無筋・鉄筋構造物						
打設工法	コンクリートポンプ車打設						
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)						
設計日打設量	10m3以上100m3未満						
養生工の種類	一般養生						
圧送管延長距離区分	延長無し						
現場内小運搬の有無	-						
打設高さ、水平打設距離	-						
機労材		代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)					*印: 賃料		
	K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m3/h			4.89		
	K2	-			4.85	51,800	51,800
	K3	-			-		
R(労務)					18.10		
	R1	普通作業員			9.43	21,600	18,270
	R2	特殊作業員			3.13	24,700	24,675
	R3	土木一般世話役			3.11	25,500	27,405
	R4	運転手(特殊)			1.94	24,600	25,410
Z(材料)					77.01		
	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55% 18-8-40BB			75.97	15,100	23,500
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			1.03	115	139
	Z3	-			-		
	Z4	-			-		
S(市場単価)		-			-		
計算式							
$\begin{aligned} \text{積算単価} &= 21,280.00 \times \left\{ \left( \frac{4.85}{100} \times \frac{51,800}{51,800} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{4.89}{4.85} + \left( \frac{9.43}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{3.13}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{3.11}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{1.94}{100} \times \frac{25,410}{24,600} \right) \times \frac{18.10}{9.43 + 3.13 + 3.11 + 1.94} \right. \\ &+ \left. \left( \frac{75.97}{100} \times \frac{23,500}{15,100} + \frac{1.03}{100} \times \frac{139}{115} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{77.01}{75.97 + 1.03 + -- + --} \right\} \\ &+ \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{--}{100} \times \frac{4.89}{--} + \frac{18.10}{100} + \frac{77.01}{0.00} \end{aligned}$							
積算単価 = 30,070.00							
週休: 4週8休以上							

# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
型枠	m2	8,707.90	8,281.00	8014	施工パ-143-1	
条件区分						
型枠の種類	一般型枠					
構造物の種類	鉄筋・無筋構造物					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)				*印:賃料	0.00	
K1	-			-		
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				100.00		
R1	型わく工			47.44	26,300	25,830
R2	普通作業員			24.80	21,600	18,270
R3	土木一般世話役			9.07	25,500	27,405
R4	-			-		
Z(材料)				0.00		
Z1	-			-		
Z2	-			-		
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)	-			-		
計算式						
$\begin{aligned} \text{積算単価} = & 8,707.90 \times \left\{ \left( \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{0.00}{--} + \frac{--}{--} + \frac{--}{--} \right. \\ & + \left( \frac{47.44}{100} \times \frac{25,830}{26,300} + \frac{24.80}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{9.07}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{--}{100} \times \frac{100.00}{--} \right) \times \frac{100.00}{47.44 + 24.80 + 9.07 + --} \\ & + \left( \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{0.00}{-- + -- + -- + --} \\ & \left. + \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{--}{100} \times \frac{0.00}{100.00} + \frac{--}{100} \times \frac{0.00}{0.00} \right\} \\ \text{積算単価} = & 8,281.00 \end{aligned}$						
週休:4週8休以上						

# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称				積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
埋戻し				m3	1,802.90	1,685.00	8015	施工パ-020-3	
条件区分									
施工方法	最大埋戻幅1m以上4m未満								
土質	-								
締固めの有無	-								
機労材	代表規格						構成比	基準単価	宮崎
K(機械)							*印: 賃料	12.40	
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)							10.62	18,400 17,800
K2	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t						*	1.68	1,560 1,960
K3	タンパ及びランマ 質量60~80kg						*	0.10	471 632
R(労務)								82.89	
R1	普通作業員							51.56	21,600 18,270
R2	特殊作業員							22.60	24,700 24,675
R3	運転手(特殊)							8.73	24,600 25,410
R4	-							-	
Z(材料)								4.71	
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油							4.61	115 139
Z2	ガソリン レギュラー スタンド							0.10	131 153
Z3	-							-	
Z4	-							-	
S(市場単価)	-							-	
計算式									
$\begin{aligned} \text{積算単価} &= 1,802.90 \times \left\{ \left( \frac{10.62}{100} \times \frac{17,800}{18,400} + \frac{1.68}{100} \times \frac{1,960}{24,675} + \frac{0.10}{100} \times \frac{632}{471} \right) \times \frac{12.40}{10.62 + 1.68 + 0.10} \right. \\ &+ \left( \frac{51.56}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{22.60}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{8.73}{100} \times \frac{25,410}{24,600} + \frac{82.89}{100} \times \frac{24,600}{24,600} \right) \times \frac{82.89}{51.56 + 22.60 + 8.73 + 82.89} \\ &+ \left( \frac{4.61}{100} \times \frac{139}{115} + \frac{0.10}{100} \times \frac{153}{131} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{131} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{131} \right) \times \frac{4.71}{4.61 + 0.10 + 0 + 0} \\ &+ \left. \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{12.40}{100} - \frac{82.89}{100} - \frac{4.71}{100} - \frac{0.00}{100} \right\} \\ \text{積算単価} &= 1,685.00 \end{aligned}$									
週休:4週8休以上									

# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称				登録番号		コードNo.		
コンクリート				8016		施工パ-141-58		
条件区分								
構造物種別	小型構造物							
打設工法	人力打設							
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)							
設計日打設量	-							
養生工の種類	一般養生							
圧送管延長距離区分	-							
現場内小運搬の有無	無し							
打設高さ、水平打設距離	-							
機労材 代表規格								
K(機械)				*印:賃料		構成比	基準単価	宮崎
K1				-		0.00		
K2				-				
K3				-				
R(労務)						44.48		
R1				普通作業員		24.11	21,600	18,270
R2				土木一般世話役		9.63	25,500	27,405
R3				特殊作業員		8.56	24,700	24,675
R4				-		-		
Z(材料)						55.52		
Z1				生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55% 18-8-40BB 小型構造物		55.52	15,100	25,500
Z2				-		-		
Z3				-		-		
Z4				-		-		
S(市場単価)				-		-		
計算式								
$\text{積算単価} = 28,841.00 \times \left\{ \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{100} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{100} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{100} \right) \times \frac{0.00}{100} + \left( \frac{24.11}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{9.63}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{8.56}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{0}{100} \right) \times \frac{44.48}{55.52} + \left( \frac{55.52}{100} \times \frac{15,100}{25,500} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{25,500} + \frac{0}{100} \right) \times \frac{55.52}{55.52} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{44.48}{100} + \frac{55.52}{100} \right\}$								
積算単価 = 38,960.00								
週休:4週8休以上								

# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称		積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
型枠		m2	7,866.70	7,446.00	8017	施工パ-143-2	
条件区分							
型枠の種類		一般型枠					
構造物の種類		小型構造物					
機労材		代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)					*印: 賃料	0.00	
	K1	-					
	K2	-					
	K3	-					
R(労務)					100.00		
	R1	型わく工			45.15	26,300	25,830
	R2	普通作業員			30.47	21,600	18,270
	R3	土木一般世話役			11.34	25,500	27,405
	R4	-					
Z(材料)					0.00		
	Z1	-					
	Z2	-					
	Z3	-					
	Z4	-					
S(市場単価)		-					
計算式							
$\text{積算単価} = 7,866.70 \times \left\{ \left( \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{0.00}{--} + \frac{45.15}{100} \times \frac{25,830}{26,300} + \frac{30.47}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{11.34}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{--}{100} \times \frac{100.00}{--} \right\} + \left( \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{0.00}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{--}{100} \times \frac{0.00}{100.00} + \frac{--}{100} \times \frac{0.00}{0.00} \left. \right\}$							
積算単価 = 7,446.00							
週休: 4週8休以上							

# 施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称				登録番号		
コンクリート	積算単位	標準単価	積算単価	8018	コードNo. 施工パ-141-23	
条件区分						
構造物種別	無筋・鉄筋構造物					
打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設					
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)					
設計日打設量	-					
養生工の種類	一般養生					
圧送管延長距離区分	-					
現場内小運搬の有無	-					
打設高さ、水平打設距離	-					
機労材 代表規格						
機(機械)		*印: 賃料		構成比	基準単価	宮崎
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	*	4.44	4.19	9,940	12,230
K2	-	-	-	-	-	-
K3	-	-	-	-	-	-
R(労務)				37.63		
R1	特殊作業員		11.11	24,700	24,675	
R2	普通作業員		10.09	21,600	18,270	
R3	土木一般世話役		7.32	25,500	27,405	
R4	運転手(特殊)		6.89	24,600	25,410	
Z(材料)				57.93		
Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55% 高炉18-8-40BB		55.99	15,100	23,500	
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		1.83	115	139	
Z3	-	-	-	-	-	-
Z4	-	-	-	-	-	-
S(市場単価)				-		
計算式						
$\begin{aligned} \text{積算単価} = & 28,884.00 \times \left\{ \left( \frac{4.19}{100} \times \frac{12,230}{9,940} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{4.44}{0.00} \right. \\ & + \left( \frac{11.11}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{10.09}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{7.32}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{6.89}{100} \times \frac{25,410}{24,600} \right) \times \frac{37.63}{57.93} \\ & + \left( \frac{55.99}{100} \times \frac{23,500}{15,100} + \frac{1.83}{100} \times \frac{139}{115} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{57.93}{57.93} \\ & \left. + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{4.44}{100} - \frac{37.63}{100} - \frac{57.93}{100} + \frac{0.00}{100} \right\} \\ \text{積算単価} = & 38,070.00 \end{aligned}$						
週休: 4週8休以上						

## 任意単価入力

項 目	入 力 事 項	
呼込番号	3701	
コードNo		
名 称	再生クラッシャーラン	
規 格	40-0mm	
類別番号	20	20 材料・資材 ▼
備 考		
単 位	m3	
参 考		
金 額	3,600	(略称↓)
登録地区	64	宮崎
登録番号	3701	登録完了

「注」 淡緑色部は、必須入力項目

## 任意単価入力

項 目	入 力 事 項	
呼込番号	3702	
コードNo		
名 称	支障木処理費	
規 格		
類別番号	60	20 材料・資材 ▼
備 考		
単 位	式	
参 考		
金 額	3,927,000	(略称↓)
登録地区	64	宮崎
登録番号	3702	登録完了

「注」 淡緑色部は、必須入力項目

## 任意単価入力

項 目	入 力 事 項	
呼込番号	3703	
コードNo		
名 称	生コンクリート	
規 格	高炉18-8-40BB 小型車割増	
類別番号	20	20 材料・資材 ▼
備 考		
単 位	m3	
参 考		
金 額	25,500	(略称↓)
登録地区	64	宮崎
登録番号	3703	登録完了

「注」 淡緑色部は、必須入力項目

## 任意単価入力

項 目	入 力 事 項	
呼込番号	3704	
コードNo		
名 称	割栗石(基礎用)	
規 格	50~150mm	
類別番号	20	20 材料・資材 ▼
備 考		
単 位	m3	
参 考		
金 額	4,500	(略称↓)
登録地区	64	宮崎
登録番号	3704	登録完了

「注」 淡緑色部は、必須入力項目